


道祖溪



指定区分	県指定名勝
読みかた	どうそけい
所在地	井原市西江原町
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	小田川支流の雄神川が、黒い輝緑岩の台地を深く削ってできた溪谷である。末広の滝、稚児の滝、龍門の滝、座禅岩、八畳岩、不動岩、鬼ヶ淵、天狗岩等の多くの滝や岩などの間を流れる清流に、アラカシ、ケヤキなどの樹木が映えて、素晴らしい溪谷美をかもしだしている。
アクセス方法	井原鉄道井原駅から車約15分 / 井原バスセンターから北振バス三山行き及び黒萩行き乗車「才見上」下車徒歩約5分
公開状況	自由 / 問: 井原市商工観光課 0866-62-8850
設備	
備考	遊歩道も整備され、4カ所の休憩所、随時に擬木ベンチなど設置されています。夏の涼と秋の紅葉が見頃です。麓にある那須与一の菩提寺である永祥寺と屋島の合戦の際の片袖を祀った袖神稲荷には、合格祈願に訪れる客も多いようです。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定名勝
ぶんかざいめい (文化財名)	道祖溪
よみかた	どうそけい
しょざいち (所在地)	井原市西江原町
していたひ (指定した日)	昭和30年7月19日
せつめい	谷川(たにがわ)の雄神川(おがみがわ)が、黒い輝緑岩(きりよくがん)の台地(だい)を深(ふか)く削(けず)ってできた渓谷(けいこく)です。たくさんの滝(たき)や、めずらしい形(かたち)の岩(いわ)の間(あいだ)を、きれいな川の水が流(なが)れています。夏(なつ)は涼(すず)しく、秋(あき)は紅葉(こうよう)がきれいなため、たくさんの客(きゃく)が訪(おとづ)れます。